

会員各位

金沢大学産学連携協力会
会長 澁谷 英利
金沢大学先端科学・社会共創推進機構
機構長 中村 慎一

「金沢大学イノベーションシンポジウム 2023 冬」の開催について

拝啓

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。「金沢大学イノベーションシンポジウム 2023 冬」の開催を、下記の通りご案内させていただきます。

今回のシンポジウムは、会員企業の皆様、金沢大学の教職員、学生の交流を通じて、産学連携の更なる強化を目的として、2部構成で開催します。第1部では、金沢大学産学連携協力会会員企業と金沢大学が取り組んだ産学連携プロジェクトの成果報告会を実施します。第2部では、会員企業の事業・研究開発等の紹介ポスターや、金沢大学の研究紹介ポスターの見学や、懇親会を通じて、参加者の皆様が交流を深める場を設けます。今回のシンポジウムを通じて、新たなアイデアの創出、研究開発力の向上、若手人材の地域定着等について考える機会としていただけましたら幸いです。

会員企業の皆様におかれましては、ぜひご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時： 令和5年12月18日（月）16時00分～19時30分
2. 会場： ANAクラウンプラザホテル金沢 3F 大宴会場 鳳
(石川県金沢市昭和町16番3号)
3. 概要：
 - 第9回若手研究者奨励賞の贈呈式（16:00～16:30）
 - 第1部「産学官連携プロジェクト成果報告会」（16:30～17:30）
金沢大学産学連携協力会会員企業と金沢大学の産学連携プロジェクト成果報告
 - 株式会社横山商会×金沢大学 上野敏幸教授（理工研究域 電子情報通信学系）
 - 澁谷工業株式会社×金沢大学 尾崎光紀准教授（理工研究域 電子情報通信学系）
 - 第2部（17:45～19:30）「地域活性化のための産学連携交流会」
会員企業の事業・研究開発等の紹介、金沢大学の研究紹介（ポスター展示）
懇親会（会員企業の皆様、金沢大学から研究者、学生、職員が参加します）

4. 参加申込・締切

下記 URL より令和 5 年 12 月 13 日（水）までにお申し込みください。

※ポスター展示希望の方は、12 月 6 日（水）までにお申し込みください。

※ポスターの展示は、1 社最大 3 枚までとさせていただきます。

※1 部のみ、2 部のみのご参加も可能です。

<https://39auto.biz/kyouryokukai/registp/entryform9.htm>

5. 備考

- 第 2 部は学生と交流を深めていただく場ですが、採用の場ではなく、学生・研究者に、協力会の会員企業の事業や研究開発を知っていただき、自身の研究との接点を感じてもらえる場です。また、会員企業の皆様にも金沢大学で行われている研究内容や学生の取り組み（研究や課外活動）等を知っていただき、産学連携の新たなきっかけにしていただく場とします。（詳細は次ページ以降に記載）
- 会員企業の皆様におかれましては、いつも協力会のイベントにご参加いただいている皆様に加えて、研究開発部門の方の積極的なご参加をお待ちしております。
- 懇親会では、軽食とアルコールを含むドリンクを提供予定です。
- 参加学生は私服で参加予定です。

以上

問い合わせ先：

金沢大学先端科学・社会共創推進機構 URA 宮ノ下 智史（みやのした ともふみ）

e-mail: miyanoshita@staff.kanazawa-u.ac.jp

Tel: 076-264-6106

第2部「地域活性化のための産学連携交流会」について

これまでの金沢大学イノベーションシンポジウムは、会員企業の皆様と金沢大学の教員・職員との交流に限定していましたが、今回は第2部を「地域活性化のための産学連携交流会」と題し、金沢大学の学生（特に大学院学生）と会員企業の皆様が交流を図る機会としたいと考えております。よろしくご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■金沢大学生の石川県内就職状況

石川県内の高校を卒業し地元の大学に進学した学生の78.9%が、地元の企業に就職を希望するという調査結果（マイナビ2023年卒 大学生Uターン・地元就職に関する調査）があります。これは同調査での全国平均の74.1%よりも高い数値であり、石川県は地元就職希望者が多い地域だといえます。

金沢大学においても、石川県内の高校等から進学した学域学生240名のうち182名（75.8%）が、卒業後に県内で就職しています。一方で、大学院学生については、県内の高校出身者で大学院（修士・博士前期）を修了した120名のうち、県内で就職したのは39名（32.5%）に留まっています。（令和4年度実績）

以上のことから、石川県出身の学域学生は卒業後も石川県に定着し、大学院学生は、修了後に他地域での就職や研究を選択する傾向があることがわかります。

■地元企業を知ってもらう場にする

今回の第2部は、学域学生、大学院学生と地元企業との接点を増やし、学生が地元企業の研究開発を知る機会を設けることを目的としております。交流会では学生は会場内を自由に移動し、それぞれの興味に応じて、参加企業様のテーブルに赴きます。学生がテーブルに参りましたら、質問に応じていただくとともに、仕事内容についてご説明をお願いします。

これにより、学生の企業様への理解が深まると同時に、参加企業の皆様におかれましては、学生の研究内容や就職に対する考え方への理解を深めていただけると期待しております。

■お願い：研究開発部門の方もぜひご参加ください

本シンポジウムでは研究開発部門でご活躍の社員の方の参加もお待ちしております。今回参加する学生は、主に大学院学生であり、“自身の研究の延長線上にある仕事”や“自身の研究に近い仕事”を求めています。「研究」を共通のキーワードとしてお話しいただくことで、交流がさらに深まることを期待しています。第2部（17:45～）からの参加でも差し支えございません。どうぞ前向きにご検討ください。